

第4学年 総合的な学習の時間指導略案（小学校）

1 単元名 文字を通して世界を知ろう

2 総合的な学習の時間と国際理解教育との関連

日常生活や学校生活の中で子どもたちの会話を聞いていると、語彙が少なくほとんど単語の羅列だけであり、文章として成立していない場面がしばしば見受けられる。

そこで、本学習を通して世界には様々な文字が存在することを知るとともに、外国語の書道体験等、世界の国々の文化や伝統に触れること通して、日本語の美しさやコミュニケーションの大切さを見直すことができるのではないかと考える。さらには、世界中の国々が互いに密接につながり（共生社会）であることにも気付かせていきたい。

3 本時の指導（ 1 / 4 ）

（1）目標

日本以外にも書道の国があることを知り、実際の体験活動を通して、類似点や相違点に気付き、それぞれの文化や伝統の良さを実感することができる。

（2）展開

学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援	評 価 の 観 点
1 白地図やコーラ缶を見て、この地域が中近東であることを知り、本時に対する興味関心を持つ。	○中近東について知っていることを出し合い、文化について触れる。	
2 アラビア文字の書道があることを知り、簡単な表記について知る	○資料を基に、中近東にも書道があることを知らせる。	
アラビア文字の書道に挑戦しよう。		
3 竹筆を使ってアラビア文字の数字の練習を行う。 ○とめ、はね、はらいの筆遣い ○書き順、など	○竹筆の使い方について説明しうまく表現できている児童を称揚する。	
4 自分の身の回りにたくさんの情報があることを知り、興味関心を持つことの大切さに気付く。 ○紙幣 ○時計 ○ナンバープレート	○自分の身近な所に様々な国々の情報があることを知らせ、情報の収集や選択の大切さに気付かせる。	
5 本時の活動を振り返り、学習のまとめをするとともに、次時の予告をする。	○視野を広く持てるよう励ますとともに、学習への意欲を持たせる。	